



国連本部ビル内での勉強会

ただきました。
 国際連合（UN）という言葉は知っていても、その活動内容は？と聞かれると戸惑われる人が多いのではないかと思います。私もそうでした。でも今回国連本部での勉強会や活動の状況を目のあたりにして、理想のすばらしさに深い感動を覚えるとともに、活動している分野の広さに驚かされました。
 国連は、国際平和と安全を維持し、民族の自決と平等の権利を促進し、経済的及び社会的福祉の向上を目指して一九四五年に発足。現在世界のほとんどの国が加盟しています。活動としては、対立する諸国間の紛争を話し合いなどの平和的手段によって解決することに努めたり、諸国への開発の援助をしたりするなどのほか、いろいろなことを行っています。
 数多くある活動のうち、国連

十月十一日朝ニューヨークを後にした飛行機は、テキサスの大平原、ロッキーマウンテン、グランドキャニオンを眼下に一路ロサンゼルスへ向かい、昼過ぎ低層住宅地区の空港に到着。市内見学へ。あこがれのサンタモニカもハリウッドも良かったが、一番印象深かったのは浮浪者の多い一帯を通った時のあの異様さ。毎日続いていた夜の散歩も今夜

秋田犬保存会 □ス支部交流会

大館青年会議所
 理事長 石川 成

開発計画（UNDP・無償援助による国際開発協力機関）の中の一つを紹介します。それは、開発途上国における子供達の生存率と教育の向上を主な目的とした活動です。このことは、人間が人間として生きるための基本的なことなのでとても大切であると思うとともに、私たちが百円程度の募金協力でも、この子供たちの助けになるのではないかと思います。
 最後に、私は機会があれば国連の活動状況を一人でも多くの人に話すつもりです。市としても、国際平和のために活動している国連を訪問する企画を、これからも実施することを願っています。

交流会は、小笠原さんの司会で始まり、畠山市長のあいさつ、記念品の交換、乾杯と進みました。乾杯の後、クリス支部長のあいさつでは、「子供のころからいろんな犬を飼っていたが、秋田犬が一番賢く、全部教え込まなくても飼い主の気持ちを理解してくれる」と大変な気の入れようでした。
 ホワイトガーデン計画の資料を彼に渡し、「ぜひ大館に来てく

はやめようと思いました。
 秋田犬保存会ロサンゼルス支部との交流会は、夜の七時から宿泊先のビルトモアホテルの一室で行われました。ここでは夜の七時ですが、出発地ニューヨーク時間では夜の十時。私は空腹感と疲労感でグッタリしていたが、この日のためにわざわざ大館からかけつけてくれた小笠原獣医さんに会い、気持ちが引き締められました。



秋田犬ロス支部との交流会

ださい」と言ったときに、ニコッと笑ってうなずいた姿が大変印象深かった。

アメリカの 米作りを見て

大館市農協理事 花田 昭

十月十三日、一行は霧のサンフランシスコがまだ明けきらないう七時三十分、北東の州都サクラメント方向にある農場へバスで出発。私は、アメリカにおける米作りの実情をこの目で見て肌で感ずることができると思うと、いささか興奮を覚える。灰色の小高い山合いを抜けると急に展望が開け、地平線はかすんで見えないほど広い。約百キロのスピードで走る国道の両側は、果樹園と収穫の終わった農地が果てしなく続く。ガイド嬢によると、カリフォルニア州の面積は日本の国土の約二倍、農業生産は全米の約半分という。あらためてその規模の大きさを知らされた。十時三十分、目的地の田牧農場へ到着。田牧氏は、アメリカに渡り稲作で立ち上がった国際的農業者らしい風格を感じた。彼は、国内外で研修を積み苦勞の末、中粒米を主体にアメリカで二番目に価格の高い「田牧ブランド米」を生産し販売している。農場経営は、約八十五畝の農地に水稲を作付けし、採



田牧氏から説明を受ける一行

算上種まきと収穫をそれぞれの専門会社に委託しているため、水管理と精米工場の管理が中心であった。
 カリフォルニア農業は、水の確保が第一で、十二月から三月までの雨期にダムへ貯水した水とはるか遠くのシエラ・ネバダ山系の雪どけ水の量が、その年の作付け面積を決定しているとのこと。また米価は、作付け前の三月ごろ各精米会社との売買契約によるため、生産費と販売額がとんとんで、政府補助金に頼るのが現状とか。このほかに減反もあるが、ペナルティはないとのこと、いささか日本とは農業の形態が違うようだった。わが国の農業があまりにも保護され、世界中から非難的的を知っていたが、米国でも食糧自給のためには保護政策をとっていることの現実に、大国の力強さを感じた。